



ロケットが落ちた時、体が焼けているから水をかけてと言いました

忘れない、
パレスチナの
子どもたちを

報道からはわからない
ガザの家族の物語が
あなたの心に語りかける

ELEVEN DAYS IN MAY

監督：ムハンマド・サウワーフ&マイケル・ウィンターボトム
ナレーション：ゾーイ・ウェイツ（英語版）、坂本美雨（日本語版）
音楽：マックス・リヒター

パレスチナ人映画監督ムハンマド・サウワーフと
マイケル・ウィンターボトムが送る追悼のドキュメンタリー



2021年5月10日～21日までの11日間。イスラエル軍によるガザの空爆により少なくとも67人のガザの子供たちが亡くなりました。イギリス人映画監督のマイケル・ウィンターボトムは、この攻撃のニュースを見た後、これらの若い犠牲者を追悼する映画を作ろうと決意しました。そして攻撃からわずか1か月後、パレスチナ映画監督ムハンマド・サウワーフとドキュメンタリー映画『忘れない、パレスチナの子どもたち』の撮影が開始されました。マックス・リヒターの音楽は、亡くなった兄弟姉妹やいとこを慈しみ語る家族の姿に情感を与え、アーカイブと個人の証言を通じて映画を観る私たちに語りかけます。そしてこの映画は、世界中の子供たちと同じ希望、夢、野心を持つ、男の子や女の子としてそれぞれの子どもの物語を追悼します。

「戦争の厳しさにもかかわらず、撮影中に家族の話聞き、子供たちを失った悲しみを目の当たりにしたとき、彼らの反応は戦争そのものの経験よりも私たちにとてもつらいものでした」

ムハンマド・サウワーフ

「遠い国の戦争について聞いても、あまり心配しないのは簡単です。この映画は子どもたちと、彼らを悲しむ家族に声を与えようとしています。人々が彼らの話を聞けば、彼らは忘れ去られることはないでしょう」

マイケル・ウィンターボトム

■ 映画料金のうち100円をガザの子どもたちに寄付します。

CREDIT

監督：ムハンマド・サウワーフ&マイケル・ウィンターボトム／ナレーション：ゾーイ・ウェイツ（英語版）、坂本美雨（日本語版）
撮影監督：サラ・アルハウ／音楽：マックス・リヒター／編集：マイケル・ウィンターボトム&オットー・ヒルズ・フレッチャー／録音技師：メルワン・アル・サワ
サウンドエディター、リレコーディングミキサー：ロバート・ファー／カメラオペレーター：ハソナ・アルジェルジャウ／カメラアシスタント：ムハンマド・カデル
録音技師：メルワン・アル・サワフ／プロデューサー：ベン・ピアース、ハシム・アルサラフ、ムハンマド・サウワーフ、マイケル・ウィンターボトム
エグゼクティブプロデューサー：メリッサ・バーメンター／日本語字幕翻訳：M.Nakamura／字幕監修：師岡カリマ・エルサムニー／脚本・演出：佐野伸寿



※映倫審査分類はG区分ですが、劇中子どもの遺体など刺激的な描写がございますので、ご鑑賞の際はご注意ください。

